



10
 2011

主題 (2011/2012)

国際会長 Audere est Facere - To dare is todo
 「とにかくやろうー成せばなる」
アジア会長 Audere est Facere - To dare is todo Mission with Faith
 「とにかくやろうー成せばなる」 「信念をもって使命をはたそう」
西日本区理事 Contribute to the Community through Active Services with Love
 「ワイズの原点、愛と奉仕で社会に貢献」
中西部長
 「であいで愛」
大阪クラブ会長 There is no time like the present: One for all, all for one
 「一期一会：ひとりひとりを大切に」

会長 牟 大盛
 直前会長 脇 本博
 副会長 森 嶋弘明
 清水 汎
 豊島 正利
 書記 脇 本博
 会計 尾 和 信孝
 北 村 知三
 プリテン 松 原 伸幸
 連絡主事 田 尻 忠邦

【今月の聖句】

「あなたは、兄弟の目にあるおが屑はみえるのに、なぜ自分の目の中の丸太に気がつかないのか。兄弟に向かって、『あなたの目からおが屑を取らせてください』と、どうして言えようか。自分の目に丸太があるではないか。偽善者よ、まず自分の目から丸太を取り除け。そうすれば、はっきり見えるようになって、兄弟の目からおが屑を取り除くことができる。」

マタイによる福音書 7章3節～5節

【10月例会プログラム】(BF強調月間)

とき：2011年10月11日(火) 18:15～20:15
 ところ：大阪土佐堀YMCA 9階

司会 尾和 信孝
 牟 大盛会長

1. 開会の鐘
2. クラブソング
3. ゲスト・メネット紹介
4. 会長報告
5. 「日々の糧」斉唱・晩餐
6. スピーチ 新保正秋さん(大阪センテニアルクラブ)
 テーマ：「HHキャンプとの出会い」
7. 誕生日・結婚記念日のお祝い・ニコニコ
8. インフォメーション
9. YMCAニュース
10. 閉会の鐘

受 付：松原・豊島・北村メネット

【第2例会のご案内】

とき：2011年10月18日(火) 19:00～20:30
 ところ：大阪土佐堀YMCA 6階 601号室
 (変更になることがありますので、ご注意ください。)



於：9月例会



於：中西部会

今月の誕生日：末岡祥弘（24）

メネットさんお誕生日：清水閔子（18）武村信子（30）

ご結婚記念日：窪田正道（18）

【聖句に寄せて】

宇野 義男

教会やキリスト教関係諸団体の中にも分裂を、今も多く経験します。キリスト者の間にさまざまな相違があり、多様性のあることは、その教会・団体の健全な姿を示しています。自分の考えているとおりに、人もそのように考え行動すべきだと要求すべきとは思えません。ひとつの事柄に対しても、多様な問題解決へのあり方は認め合わねばなりません。相違のあることが、そのまま分裂への道ではないことは知らねばなりません。分裂のシンボルは壁です。のりこえない、打ちこわすこともできない壁はお互いの姿を認めないことから起こります。私の座右の聖句です。

【スピーカーのプロフィール】

新保正秋さん（大阪センテニアルクラブ直前会長）

昭和19年宮崎県日南市で生まれる。昭和26年から小学校・中学校・高校を豊中ですごし、昭和40年神戸大学教育学部に入學。昭和44年大阪府立高槻養護学校に勤務。昭和61年兵庫教育大学大学院に内地留學。これ以降、豊中養護学校、箕面養護学校、豊中養護学校、教育大学附属養護学校、生野高等聾学校、藤井寺養護学校勤務を経て、平成17年～平成22年身障施設「ともがき」（能勢）勤務。現在大阪教育大学講師としてご活躍中。

付記 国内HHキャンプの広報活動で新保先生には大変お世話になりました。夏の暑い盛りに2日費やして、府下の聾学校を4校回りました。先生の同伴が無ければ、校長、教頭先生には話しができませんでした。大阪クラブ一同改めて感謝申し上げます。

【9月出席状況】

9月出席状況	在籍	例会出席	アメ ツイ ブク	メ ネ ット	ゲ ス ト	ビ ジ タ ー	出席率	二献 コ金 ニ コ
正会員	13	11		3	7	3	84.6%	16,962円
功労広義会員	4							
合計	17	11		3	7	3		

9月例会の出席者

メネット：崔金順メネット会長、北村信子、脇本真知子メネット

ビジター：岡西博司（京都プリンス会長）、井上公男（大阪西）、井上祐起子（中西部メネット主査）

ゲスト：西村智恵、桜木貴博、高土雄輔、小山真利子（OB&OG）、立山英展（YMCA）

伊田洋子（手話）、五条孝次郎（牟大盛会長友人）

【遊上義一さんを偲んで】

会長 牟 大盛

8月11日に大阪クラブの長老の遊上義一先輩が天に召されました。享年96歳の生涯を全うされました。遊上義一先輩は、YMCA奉仕は勿論、ワイズの活動にも積極的に参画され、大阪高槻クラブ、センテニアルクラブをチャーターされた功績者でもあります。また、IBC活動にも積極的であられ、韓国釜山海洋大

学に本を2万冊寄贈されるなど枚挙に暇がございません。

また、大阪Y M C Aの早天祈祷会では一番の前に陣取り、本当に熱心に礼拝に参加をされていたとのことです。クラブ例会では、いつもニコニコとされ、「よくがんばっているね。期待しているからね！」と常に後輩を励ますことを忘れない先輩でした。

遊上義一先輩を天に送ったことは本当に残念ですが、今年11月19日(土)午後3:30分から、土佐堀Y M C A 10F礼拝堂において「偲ぶ会」を持つ予定であります。

どうか、遊上義一先輩を偲びましてお一人でも多くのワイズメン・メネットのご参加をお持ちしています。

【遊上義一さんを偲んで】

宇野 義男

遊上さんについて思い起こされるのは、いつもユーモアに溢れ、短く巧みなスピーチをされることです。大阪Y M C Aが中心に募金活動し、韓国Y M C A同盟、関西韓国Y M C A、日本Y M C A同盟他の協力を得て竣工されたY M C A 済州島青少年センター竣工のパーティで、韓国Y同盟総主事とソウルY総主事の素晴らしい独唱に続いて、遊上さんが日本代表?として「宝塚歌劇のすみれの花」を美声で歌われ拍手喝采を浴びました。お聞きすると、当時、1カ月に一度は観劇する永年の宝塚歌劇ファンとのことでした。

遊上さんがメネットさんと睦まじく私宅の近くを散歩されていた頃、メネットさんは大阪クラブでのメネット活動を楽しみ活躍されていました。私の亡きメネットにもお宅への誘いがあり伺ったことがありましたが、帰宅して私に「他では見られなかったパーティ?であった」との感想を漏らしておりました。

自宅を阪急電車池田駅に直結するマンションに移され、一人住まいされていた頃、ピアノを始められ、発表会で演奏されたことが地域で話題になりました。

遊上さんは大阪Y M C Aでは監事や北Yの運営委員として奉仕され、Y M C Aの地域活動の発展に顕著な貢献をされました。会議で遊上さんが発言されたことは少なく、しかし、発言された時は、適切な、また、示唆に富んだものでありました。

特記すべきことは、大阪ワイズメンズクラブ会長時代、大阪高槻クラブ設立に続き大阪センテニアルクラブ設立のために尽力されました。その他諸活動への多大の貢献に対し、荣誉ある奈良伝賞を受賞されました。

ワイズメンズの国内外の大会・交流会には、積極的に参加され、私も幾度か共にしたことがあります。申込みされても、国内大会に連絡なく当日欠席されたことが時々あり、一同大騒ぎしたことも懐かしい思い出。これらの大会・会合で食事を共にした時、遊上さんのお元気を象徴するような健啖家ぶりに一同感服、しかし、心配も致しておりました。

Y M C A・ワイズを通じ、親しく交わって頂きご指導頂いたことを深く感謝いたしております。遊上さんがその生涯を通じて示された深い信仰と奉仕の業は、広く私達の尊敬するところでした。天国における安らかな憩いと共にご遺族の皆様の平安を祈ります。

【遊上義一さんを偲んで】

清水 汎

故遊上メンが亡くなられて1カ月余りが過ぎましたが、ここに謹んで追悼の文を書かして頂きます。遊上メンとは30年近いお付き合いです。遊上メンと私の父とは遊上メンが阪急不動産(株)の専務をされていた時代からの知人で父の紹介で知り合いになることができました

私が約26年前ワイズメンズクラブに入会した時最も輝いて居られた一人で、奥様といつも同伴で毎回例会に出席されワイズメンらしい服装、礼儀を守っておられ大阪クラブの紳士そのもので尊敬すべき人でした。

遊上メンはいつも手帳に毎日の予定をぎっしりと書かれ10に近いクラブに所属され多くの方と親交を暖められていました、遊上は初対面の人に気楽に話しかけられ名刺を手渡されていました。遊上メンは各クラブでも名士で私もその中で有名なクラブ2クラブに紹介され入会しました。その頃はバブル景気で多くの人

と交わり社会を広く見渡すが出来ました。遊上さんとは、メネットもファンで海外、日本全国のワイズの大会に出席し交流を深めることが出来ました、遊上さんは何処へ行っても人気者でその顔の広さに感心しました。遊上メンはユーモアな話が大好きで、その話にもユーモアがあり、いつも工夫を凝らして話されているのを見て勉強になりました。90歳前後から身体は思うように動かなくなっておられたと思いますが、今度は、頭を使って毎日のように遊上流俳句を作られ、はがきで知人に数多く送られていました。

三井満寿雄メン、遊上メン、人生の最後までユーモア溢れ工夫努力され、人間関係に 独特の能力を発揮されてこられた大阪クラブの大きな宝ものが今クラブに在籍されていないことは淋しい限りです、この人たちの功績、その思いを受けて引き継がれていない現状に時代の流れとは言え、深い悲しみを覚えます。

【クラブ役員会報告】報告者：書記 脇本 博

日時：2011年9月20日(火) 18:30~19:00

場所：大阪土佐堀YMCA 601号室

出席者：牟大盛会長、北村、松原、脇本

協議事項

1) 10月プログラム(BF月間)について協議した。プリテン1ページ参照のこと

2) 11月プログラムについて協議した。

スピーカー 伊藤圭介さん(河内クラブ)に御願ひした。テーマ「Look World」

3) EMC(8/20)、YYフォーラム(9/03)、中西部会(9/17)について

牟大盛 会長、北村副会長から報告があった。プリテン参照のこと。

4) HHキャンプOB、OG達にYMCA認証ユースリーダーになって頂くことを大阪ワイズメンズクラブは強く希望している。また、OG、OBの皆さんには手話通訳者の方も含めて大阪クラブのHHキャンプ支援のタスクフォースとしてのなんらかの形で大阪ワイズメンズクラブへ所属して頂きたい。この2点の要望を本日(9/20)開催のHH支援拡大委員会の席上で牟大盛 会長から伝えることになった。

5) 「故 遊上 義一さんを偲ぶ会」開催について協議した

決定事項 とき 11月19日(土)15:30-17:00

ところ 大阪YMCA 10F チャペル

茶話会形式とする。出席者は受付時に芳名録に署名。会費無料。

プログラムは牟大盛 会長に御願ひした。

6) 新メンバー勧誘について協議した。

【9月メネット例会報告】

メネット会長

崔 金順

9月のメネット月間は、井上メネット事業主査も参席いただきまして8月13-15日の六甲YMCAでもたれました、HH(聴覚障ガイ)国内キャンプの報告がございました。

特に、牟会長報告では、京都プリンスクラブでは昨年正式にCS事業として、HHキャンプを始められたとのことです。また、西クラブの井上公男メンが紹介者として参加されました。

メネット会としては、少しのお菓子と脇本メネットがビールをご提供いただき、また條さんからは、お住まいの阿南から酢橘を全員分お持ちいただきプレゼントされました。

晩餐のあと、田尻連絡主事がプロジェクターを通して、初めてのHH国内キャンプ報告を詳しくされました。また、岡西京都プリンスクラブ会長から、15年ほど前から聾の学生を中心にキャンプ支援をしてまいり、今後大阪クラブとの合同開催も視野に活動したい旨報告がございました。

また、YMCAの立山さん、末岡総主事もHHキャンプの意義についてご意見がありました。牟会長のご

友人の五条孝次郎さんは、Y M C Aで育った関係でいずれか大阪クラブに合流したいとおっしゃり、皆の拍手を受けられました。

9月は、メネット月間ですが、大阪クラブは通常3名のメネット（脇本・北村・崔メネット）が常連であり、少し寂しい思いです。

11月19日には、故遊上義一さんの偲ぶ会も土佐堀Y M C Aで持たれます。いろいろ寂しいことかもしれませんが、クラブメンを支えるメネット会として最善をつくしたく思います。

【第8回聴覚障がい基金拡大委員会報告】 会長 牟 大盛

日時：2011年9月20日（月）午後7：00～8：30

場所：大阪Y M C A会館 601号室

参加者：大阪クラブ 脇本博、松原伸幸・北村知三、牟大盛、脇本真知子（以上大阪クラブ）

HHキャンプOB OG 高土雄輔、桜木貴博、

伊田洋子さん（手話通訳奉仕） 以上 8名

進行司会：脇本博、 手話通訳：伊田洋子さん

議題：

1. HH国内キャンプ評価

各自、六甲Y M C Aで8月13日～15日間に実施された、最初のHH国内キャンプはY M C A認証リーダー不在にもかかわらず、全体的に成功裡に終了したとの評価であった。

特に、宮城県からの被災者兄妹の存在と、キャンプを通しての目を見張る変化を示したキャンパーについてやりがいを感じたとの意見でした。

また、過去の国際キャンプでは、国際交流行事がメインとなるため、今回の国内キャンプでのキャンパー一人ひとりの心の変化と成長こそやりがいのあるキャンプとの意見でした。

2. HHキャンプOB, OGリーダーの大阪Y M C A認証リーダー化について

最初の国内HHキャンプを成功裡に終え、今後国内キャンパーを例えばすでにCS事業としている、京都プリンスクラブなどと共同で開催する場合、認証HHリーダーが必然的に多数必要となるため、HH認証リーダーとして努力する旨OBから了解の意見があった。

ただし、ほとんどのOB OGが社会人のため、その点を総合的に理解して戴きたい旨要望があった。

認証リーダーの件については、今年度中の方向付けとして大阪Y M C A統括の立山英展氏と田尻忠邦連絡主事が努力する旨を伝えた。

3. 10月10日（月・祝）チャリティラン出走者について

- 1組の出走者を募っており、当日午前8：30まで大阪城公園（昨年と同じ場所）に集合する。

- 当日終了後に全員で昼食をすることに決まる。

4. 11月3日（祝・木）土佐堀カーニバル参加者について

- 従来の「焼きそば屋台」とミニ手話講座を開催する。

- 大阪クラブの森嶋次期会長の御奉仕で「焼きそば屋台」は準備予定であり、ミニ手話講座はOB OGが交代で参加指導をする。

5. その他：普通校に通う聴覚障がい生徒の掘り起こしに付いて（効果的な広報手段）

- いろいろな考えられる方法の中で、やはり 各地方自治体の教育委員会事務局を直接訪問して、理解をいただいた上で、各普通校へ公文をとおして働きかける。

6. 次回拡大委員会は、田尻・立山さんの認証リーダー取得への努力の結果をもって、開催日時を決めることとし、田尻連絡主事に一任とした。

【第15回中西部会報告】

会長 牟 大盛

第15回中西部部会がホテルクライトン新大阪で、9月17日午後1時から清水部長の開会宣言点鐘、松浦直前部長の聖書朗読・祈りで開催した。

賛美の後、谷大阪西クラブ準備委員長（会長）の歓迎挨拶と中西部クラブ会長と主査の紹介、来賓・区役員の紹介とつづいて来賓祝辞となった。

末岡大阪Y M C A総主事は、今年の夏は東北震災支援の一環として、HH国内キャンプをはじめ、障がい者支援キャンプをいくつか無事成功裡に終わることができ感謝であり、またこの支援は今後継続して支援する事業であり今後ともご支援を賜りたいとのご挨拶でした。西日本浅岡理事は、西日本はワイズの誇りである大阪クラブがあり、大変大切な部であるのでぜひとも今後の飛躍を願っていることとご挨拶でした。清水部長は、今期の標語は「であいで愛」であり、ワイズで新しい出会いを楽しんで何よりも愛をもってクラブ運営をしていただきたいこととご挨拶でした。

中西部主査の今期方針発表があり、結局Y Y協働事業とE M C運動を連帯して進めるべきとの共通した意見でした。

つづいて、中西部各クラブ会長の「5年後のクラブ像」を語る順序です。まず、大阪クラブ会長として小生が「創立70年度（1998年）に始めた聴覚障がい支援事業を、今年初めて国内HH（聴覚障がい）キャンプを宮城県のキャンパー2名を迎えて8月13日から2泊3日六甲Y M C Aで成功裡に開催しましたが、今後このHHキャンプリーダーとI B Cパサデナクラブ訪問学生を中心にユースクラブをつくり、この事業に協賛する会員を最終的に30名以上とし、ユースクラブ会員を20名以上としたい。」との夢を語りました。

他クラブ会長も、現在の状況打開の具体的なアイデアを披露されました。

第2部は、カブドットコム証券の河合達憲氏による「よりよいシニアライフを送るために」との題目での基調講演です。過去の株価の推移を詳細に分析しながらの、いわゆる「温故知新」の感性を披露されました。

第3部は和歌山クラブ神田尚人メンによる食前感謝で晩餐会が始まりました。次期江見淑子中西部部長による乾杯で食事と歓談です。

来年の区大会など華やかなアピールタイムのあと、Y M C Aの歌斉唱と部長の閉会の点鐘で無事終了しました。

大阪クラブからの参加者は、清水汎、北村知三、末岡祥弘、牟大盛、脇本真知子メネットでした。

【中西部合同メネット会報告】

メネット会長 崔 金順

9月17日（土）中西部会の直前に、午前10時30分からホテルクライトン新大阪で中西部合同メネット会が、大阪西クラブ 畠平恵子メネットの司会でもたれました。井上佑起子メネット事業主査の開会の挨拶と、今井利子さんが作詞された、メネットソングを斉唱しました。

浅岡徹夫西日本区理事、清水中西部部長、区の大澤玲子メネット事業主任のご挨拶と中西部以外からのクラブの紹介がありました。

また、中西部各クラブのメネット会からクラブの現状報告がありました。わたくしも、大阪クラブが今年から始めましたHH（聴覚障がい）国内キャンプの推進状況について話させていただきました。

次に、ガーデンコーディネーター豊嶋美由紀さんにより「カンボジアの子供たちのために」という題目で講演がございました。豊嶋さんは、ガーデニング関連の業務をしながら、世界を周り自然、特に植物と人間の生活の調和を訴えられ、現在は釜が崎の日雇い労働者と植栽の仕事にも携わるなど、2009年からは社会貢献活動も開始したり、カンボジアでは地雷の被害者の孤児施設を訪れるなどしました。大阪で世界に誇るフラワーショー開催を目標に活動中で、水都大阪2009中ノ島中央公会堂で「花が大阪に魔法をかける」をプロデュースしたかたです。講演は、ソマリアでは餓死者が多く、支援がすぐに来ない悲惨な状況であり、

カンボジアでは戦争の悲劇のなか教育も十分に受けられない現状を訴えられました。また、寄付とは相手が必ず必要とするものを送るべきであるとも強調されました。

また、メネット事業に対しての献金をいたし、カンボジア支援をされています大阪西クラブ谷千津子メネット会長に伝達をいたしました。

井上メネット主査の閉会のご挨拶のあと、一階レストランに移動して、昼食をいただきました。

(大阪クラブ参加メネット：脇本真知子・北村信子・崔金順)

【第23回阪和部会報告】

清水 汎

第23回阪和部会が2011年9月23日大阪南YMCA会館で開催されました。大阪クラブの参加者は末岡総主事と私清水メンの2人でした。参加者は140名ほどでしたが、他部会からの参加者が60名ほどで中西部同様他部会からの参加者が、数多かったようです。阪和部、中西部もメンバーの減少で衰退気味であり、両部会からの参加者は100名を切っているようです。会費は4000円でしたが、その中から500円を東北大震災の支援に使うようです。

恒例の第一部の式典がありバナーセレモニーに始まって松本三枝子部長の開会宣言、挨拶、末岡総主事、浅岡理事の来賓挨拶その後各主査報告があり、アジアユースコンポの活動報告もありました。

第二部は会食で弁当が出ました。アピールタイムがあり、第15回西日本区大会が2012年6月9、10日に長浜クラブのホストで長浜で開催のアピール、堺クラブの50周年、泉北クラブの30周年のアピールもありました。

第三部はピアノとバイオリンの演奏がありその熱演に聞き惚れていました。

第四部は閉会式で鉄谷実行委員長挨拶、次期阪和部正野部長の閉会宣言があって閉会となりました。

大都会のワイズ活動が衰退気味で地方のワイズ活動の方が活発な気がします。ワイズ活動を活発にするには、30名ほど必要と思われませんが、阪和部も中西部も実際の活動は10名以下のメンバーで行っておりメンバーの2、3人が情熱を失われれば、その機能は麻痺することも考えられます。人が集まればそれで良いのではなく、そのボランティアの意義、YMCAに対する意義をもう一度原点に帰って考えることも必要と思われれます。

ホストクラブは大阪サウスクラブで、手品名人の鈴木メンが司会で頑張っている居られました。

【2011YYフォーラム報告】

北村 知三

9月3日(土)午後2時から、「2011年度中西部YYフォーラム」がYMCA会館3階で行われました。今年は特に東日本大震災という大きな災害があって、仙台YMCAなど東北のYMCA支援を中心に全国のワイズメンズクラブがYMCAと協働で支援活動するという、中心となるテーマがありました。

まず現地ボランティア活動に参加したワイズメンの鈴木璋三ワイズ(阪和部大阪サウス)が、4月初めの日本聖公会大阪教区支援活動から、3度にわたる現地での支援活動について話しをされました。特に4月下旬の日本YMCA・大阪YMCAからの要請を受けて、仙台YMCAを通じての1週間の現地活動は、ワイズとYMCAとの協働というY事業の原点に立ち返るものでした。現地で被災者支援活動を通じての変わりから、ボランティア活動について感じたことや考えたことを色々話をされました。そのあと、2度目のときに一緒に参加したYMCA上町日本語学校の石橋英樹スタッフが、YMCAの立場から支援活動を報告しました。また8月末からの「大阪YMCAユース・ボランティアキャラバン隊」について、大阪YMCA内田弘志スタッフから報告がありました。

次に、大阪クラブ牟会長が、今夏YMCAと協働で行った「六甲山HHキャンプ」について報告しました。牟会長の報告は、聴覚障がい青少年事業の立ち上げのときから始め、今回のHHキャンプでは、東北からの

聴覚障がい者にも呼びかけ、宮城からの2人の参加者を含めHHキャンパー7名、スタッフ、通訳、ワイズメン、それにパサディナからのIBC留学生など計22名で、非常に有意義なキャンプとなったことなど、田尻連絡主事と立山YMCAスタッフが編集したスライドを効果的に映し、今後の展望まで10分以内うまくまとまった報告でした。

さらにHHキャンプの直後、同じく六甲山で行われた表現・コミュニケーション学科による被災者支援六甲山親子キャンプについて、YMCAの道盛美穂スタッフから報告がありました。発達障害の子供たちを対象に、こちら東北からの参加者を交え31名で行われたそうです。キャンプ実体験を通して子供達の自立心が育まれたことなど、自身もすばらしい経験となったことを話された。

アフタヌーンティータイムが30分余りあり、ワイズメン・メネットが持ち寄ったホームメイドのお菓子とお茶でくつろぎました。その間、「HHキャンプ」について、他クラブから非常に内容のよいYMCAとの協働事業ということで、クラブへの評価が伝わってきました。

末岡総主事のまとめの挨拶があり、YMCAの歌。清水誠治郎中西部部長の閉会点鐘で午後4時に終わりました。今回YMCA約10名、ワイズ30名あまりの参加者ですが、YMCAと協働での東日本大震災への支援活動というテーマが一貫していて、Yサ・ユース事業の和田早苗主査(豊中)のフォーラム開催への努力が報われたものとなりました。

大阪クラブからの参加者は、牟会長と北村、そしてYMCA総主事としての末岡さんでした。

【YMCA阿南国際海洋センター訪問記】 会長 牟 大盛

中西部と和田早苗YMCAサービス事業主査の呼びかけで、12名の人数をもって9月23-24日の二泊二日でYMCA阿南海洋センターを訪問いたしました。

阿南海洋センターは、1968年に開設され、ヨット、カッター、カヌー、カヤック、ボードセーリングなどを通してたゆまなく多くの青少年に「シーマンシップ」を教えてきました。

23日午後4時ごろに到着し、早速スタッフの案内で施設を見学しました。全体的に相当数の年月が経っており、老朽化するなかでも、大浴場を新築(コンクリート造り)したり、トイレなどは新しく全部洋式に変更するなどその間の改造の努力を垣間見ることができました。木造の宿舍の1号館、5号館、7号館、8号館も全員で見学しました。

夕食のあと、全体の親睦と所長を交えての海洋センターの将来と津波対策などについて意見の交換をしました。また、中西部が寄贈した数隻のカヤック以外に、近年におおくのカヌーやカヤックが寄贈されていました。

翌日は、われわれ自らカヤックを体験しました。中西部が寄贈したカヤックは小学生用でして、乗った大人は必ず一度は海水の洗礼を受けました。また、向かいの島「野の島」に皆で渡り、みんなで冒険もしました。

今回は、YMCAと協働事業をすすめるワイズメンが少しでも阿南海洋センターの実態を見て、改装や津波対策など手助けできる分野を模索する機会となりました。今後、HH国内・国際キャンプやその他多くのプログラムに利用する大切な施設でもあり、今後相互の協力体制の足がかりとなるように祈る次第であります。

中西部の役員の皆様本当にご苦労様でございました。

【今井利子さん受賞祝賀会報告】 会長 牟 大盛

今年6月の第14回西日本区大会において、今井利子さんが「最優秀ワイズメン賞」受賞されましたが、

8月27日(土)午後6時から、中ノ島センタービル1Fのカフェ「ボンジュール」で、なかのしまクラブ主催の受賞祝賀会がパーティー形式でもたれました。

中西部は勿論、京都・阪和・六甲部から大勢のワイズメンが今井さんの受賞を祝うためにはせ参じられました。今井さんは、お体のご不便を押して、本当に熱心にあらゆる部の部会は勿論、各種大会はほとんど出席されるだけでなく、個クラブの通常例会にも熱心に参加されます。わが大阪クラブにも、「準会員」と自称されるように熱心に出席されています。ただ、最近では体調を崩されたりされていますので、あまりご無理をされないよう皆ご慰労されていました。

カフェ内の雰囲気は、祝賀ムード独特の華やいだ雰囲気の中、参加者一人ひとりが今井さんの受賞の祝辞とそれぞれの立場と思い出を話されました。

今井さんは、「メネットのねがい」の歌を作詞された功績者でもあり、ほんとうにワイズの宝物です。今後も、ごゆっくりワイズライフを楽しまれることをお祈りいたします。

大阪クラブ参加者：清水汎・脇本博・脇本真知子・牟大盛

【YMCAニュース】

土佐堀YMCA公開キリスト教セミナー

毎年恒例のキリスト教セミナー、今年は1回のみで開催となります。今回は先の東日本大震災をテーマに大阪教会の岡村牧師にお話頂きます。被災地にある教会の現状をお話頂くとともに、共に祈りを合わせましょう。申し込みは表コミまでお電話・メール下さい。

月 日：2011年10月7日(金) 時 間：18:30~20:30

会 場：大阪YMCA会館4階403号室

講 師：岡村 恒 牧師 (日本基督教団大阪教会・土佐堀YMCA運営委員)

テーマ：「YMCAに託された祈りの使命 ~今、私たちにできること~」

参加費：300円(茶菓付き)

主 催：土佐堀YMCAキリスト教委員会

お申込：以下まで電話・FAX・メールにて

電話：06-6441-1123 FAX：06-6443-7544 E-mail：kobayashi-naoki@osakaymca.or.jp

(大阪YMCA国際専門学校 表現・コミュニケーション学科)

第222回 大阪YMCA 早天祈祷会

YMCAを愛する人々と一緒に祈る時(第3金曜日)を持っています。YMCAの様々な場所で活動されている方々にお話をいただき、人生の歩みを分かちあう恵みの時としています。

日 時：10月21日(金)7:30~8:30

証 し：灰谷 隅夫(土佐堀ワイズメンズクラブ)

場 所：大阪YMCA会館

問合せ：大阪YMCA国際・社会奉仕室 Tel:06-6441-0894

【今後の行事予定】

今後の行事は、次のとおりです。積極的な参加をお願いします。

1. 六甲部会・・・10月8日(土) 神戸YMCA
2. 大阪YMCA第17回チャリティーラン・・・10月10日(祝・月) 於：大阪城公園
大阪クラブは毎年HHのOBOGで1組を応援します。集合時間 午前8:30です。
3. 瀬戸山陰部会・・・10月15日(土) 日本キリスト教団 岡山教会
4. びわこ部会・・・10月16日(日) クサツエステピアホテル
5. 第11回とさぼりカーニバル・・・11月3日(祝・水) 11:00~15:00 於：大阪YMCA土佐堀会館
今年は、ワイズメンからの生活用品などの献品を募集しております。献品は、土佐堀Y1F窓口までお届け願います。
大阪クラブは11時30分から1F受付を担当します(交代で担当)。森嶋メンを中心にやしそばの販売奉仕と、HHキャンプOBOGによる505号室で、手話講座があたらしく開設されます。
6. 遊上義一さんを偲ぶ会・・・11月19日(土) PM3:00受付
於：大阪YMCA土佐堀会館10階チャペル

参加希望者は、脇本書記宛(090-9286-0108 fax 06-6761-9713)ご連絡ください。

【CSより】

献品は下記住所にお願いします。

「釜ヶ崎いこいの家」 〒557-0004 大阪市西成区萩之茶屋2-5-23 : (06)6631-2169

【編集後記】

遊上さんのご冥福をお祈りいたします。ワイズメンそのものを体現された方々が召天され、寂寥たる思いです。先人の方々のワイズメンズ活動にかけた思いを消失させることなく、受け継いでいかなければならないと思います。年末にかけて行事が多々ありますが、ご参加をお願いします。(編集委員：松原伸幸)